NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞を読もう！―発表する力をつけるために―

2．学校名

大阪府大阪市立天満中学校

3．実践者名（代表者名）

松本亜紀

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語科・総合的な学習の時間　104人

6．単元（本時の学習課題）名

文章の違いを読み解く

7．目標(狙い)

読解力向上を目指し、複数の新聞を読んでメディアリテラシーの力をつける

8．評価の視点

複数の新聞を表現の違いを見つけることができたか。またそれを他人にわかりやすく表現できたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「意見文を書こう」2時間　「対話を考える」3時間　計5時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①クラスを1班3・4人、10班にわける
②同じ日の新聞5紙から自分の興味のある記事を選ぶ(同じ内容の記事を5紙分選ぶ)
③新聞によって記事の書かれ方、見解の相違を見つける
④ワークシートに記事の概要、見解の相違点などをまとめる
⑤模造紙にワークシートの内容をまとめる
⑥模造紙を掲示し、他の班の長所を見つけ、感想を伝え合う

（留意点）
・昨年度取り組んだ、自分で興味のある新聞記事を見つけ、自分の意見をまとめるという活動を班で共有することで、一人では思いつかない意見や考えを生み出せるよう、自由な発言ができる雰囲気をつくる
・模造紙を書いて終わり、という活動に終わらせないよう、模造紙を廊下全面にはって休憩時間に自由に見られるようにする。また、他の班のよかったところ、こうしたらよいといったアドバイスを書かせる

11．児童・生徒の反応、感想・意見

班の中でどんな記事を選んで比較していくかを話し合い、難しい時事問題にも取り組んでみようという意見が聞かれた。また、断片的に知っていた事象を同じ内容の記事を比較して読むことでつなげていけた、という意見も聞かれた。

12．成果と課題

昨年度は自分一人だけで興味のある記事を選ぶという活動であったが、班を作ることで、一人では手をつけにくかった世界情勢や政治経済の問題もチャレンジしやすかったようである。当初考えていたメディアリテラシーという点ではまだまだ新聞を読んで理解し、比較する、ということができなかった。来年度はまずは文章を読んで比較する、という活動を新聞のみならず、様々な読み物でおこなっていきたいと考えている。